

2025年
8月号

明石市議会 自由民主党明石

明石の成長と発展。私たちが前へ進めます！

防災・減災について考える

明石市議会 自由民主党明石
幹事長 千住 啓介

我々政治家の一番の目標は市民の生命と財産を護ることであると考えています。

南海トラフ地震の今後30年以内の発生確率は80%程度と発表され、いつ起きてもおかしくなく、また、地震のみならず、台風や大雨等による災害も常態化しており、防災・減災への取り組みが重要な課題であると認識しています。過去には費用面から治水対策事業を敬遠するような市政運営をしてきたこともありましたが、インフラ整備で生命と財産が護られるのであれば、そこはしっかりと事業化すべきであると考えております。

今回は、災害から身の安全を確保すること、安心した避難生活を過ごすことについて、危機管理監と対談しましたのでご報告いたします。



(左) 総合安全対策室 危機管理監 仲川 剛 氏

(右) 明石市議会 自由民主党明石 幹事長 千住 啓介

～身の安全の確保について～

千 住：「いざ」というときに自らが備えておく自助が、身の安全を確保するために大切なことであり、家具の固定、食料、水、生活用品等の備蓄、ハザードマップの確認等を市民の皆さまに周知、ご理解いただくこと、そして家族等で発災時にどう避難するか等の話し合いが大切であると思います。市としてはどのように周知していますか。

管理監：広報あかし、明石市ホームページ、公式LINE、防災出前講座等を活用して努めて多くの方に知っていただくよう努力しています。

千 住：7月1日の中央防災会議では、南海トラフ地震での死者数を今後10年で8割減とする目標を設定していますが、市民の皆さまへの啓発が目標到達の近道であると思いますので、よろしくお願いします。

～安心した避難生活について～

千 住：能登半島地震での避難所生活環境が、兵庫県南部地震の時のままであるとの問題もあり、災害関連死防止や要配慮者支援の観点からも、トイレ、ベッド等の必要物資の充実を図り避難所生活環境を整備し、避難者の健康維持に努めることが課題であると認識していますが、市の取り組みについて教えてください。

管理監：平常時から簡易トイレや携帯トイレセット、段ボールベッドの備蓄量を増やそうとしています。しかしながら、これらを保管する場所に制約があります。

千 住：避難所において避難生活を準備する人たちが、生活に必要な物資を迷わずすぐに取り出せるように、指定避難所ごとに倉庫を設置することは、効果的であると思います。

管理監：幹事長のおっしゃるとおり、今年から3つの指定避難所に倉庫を設置するように取り組みを始めました。

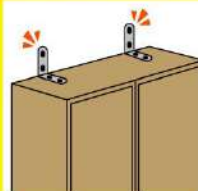
千 住：健康な避難生活を続けるには、物資の充実に加えて、避難した方が避難所を自主的に運営していく共助も必要であり、このあたりの周知、理解もお願いしたいと思います。よろしくお願いします。



陸上自衛隊HPより引用

家具の固定で、大きな家具・家電の落下から命を守る
すぐできる簡単な地震対策

L型金具による固定



粘着マットによる固定



すき間家具による固定



「平時から自衛隊等と連携を取りながら、防災・減災について協議、訓練をすることが大切である。」と議会で進言しました。今後は更に連携が強化されます。

防災対策に関する自由民主党明石の取り組み

今年、阪神・淡路大震災から30年という節目の年です。震災の記憶が薄れていく中であっても、改めて震災の経験や教訓を後世に伝え、今日のまちづくりや防災対策に生かされるよう取り組んでいかなければなりません。

阪神・淡路大震災では約31万人が、そして東日本大震災では約47万人が避難所生活をされました。そして、避難所閉鎖までに阪神・淡路大震災では6か月、東日本大震災では、岩手県で7か月、宮城県で9か月を要しました。ひとたび災害が起こると避難所は、住まいを失い地域での生活を失った被災者の拠り所となります。また引き続き在宅での不十分な生活をしている被災者の支援拠点となります。それゆえに避難所の質の向上、すなわち避難所において被災者の健康が維持されることに加えて、被災者がどれだけ人間らしい生活や自分らしい生活を送ることができるかという視点が重要です。

災害当初は、避難所の不足、避難所運営の担い手やノウハウの不足、高齢者や障害者等災害時要支援者への対応といった課題や、明石市が備蓄している簡易トイレに必要な消耗品の不足等（凝固剤や消臭袋等最低でも10万セット必要なところ3万5千セットとまだまだ足りていない）を指摘し、改善を求めました。

また、緊急防災・減災地方債を継続的に活用できるように国へ要望してきたことが実り、災害時に避難所となる市内全中学校と明石商業高校の体育館に通常の空調機器の数倍の能力があるスポットエアコンを設置することができました。

引き続き市内全小学校体育館にも整備できるよう、自由民主党の国・県とのパイプを活かして全力で取り組んでまいります。



旧図書館跡地を「文化の森-音楽の森」へ

かつて多くの市民に親しまれ、長年にわたり地域の知の拠点であった旧図書館。その跡地は県への返還時期をめぐり議論を呼んでいましたが、このたび、まちづくりに活かす新たな計画が動き出すこととなりました。



明石市では以前から、文化活動、特に音楽活動の場が不足しているとの声が多数寄せられていました。自由民主党明石では、地域の皆さまに喜ばれる施設とは何かを模索し、令和6年12月議会において「音楽活動が行える文化施設の充実を求める請願」の採択に向けた働きかけを行いました。現在、市はこの跡地に「小規模音楽ホールを含む多目的ホール」を整備する構想を検討中です。音楽演奏はもちろん、演劇や講演会、地域の発表会、ワークショップなど、さまざまな文化活動に対応できる柔軟な空間をめざします。

まちの活性化には経済や観光と同様、文化の力も欠かせません。音楽や芸術を身近に楽しめる場所があることで、日々の暮らしに豊かさや心安らぐひとときが生まれます。また、世代や立場を越えた交流の場としても大きな可能性を秘めています。

この多目的ホールが市民の皆さまの「交流の場」「表現の場」となり、まちの魅力やにぎわいの創出につながるのではないかと考えます。旧図書館跡地が新たに「文化の森」として地域に息づくよう、今後とも温かいご関心とご協力をお願いいたします。



千住 啓介
5期議員
【事務所】二見町福屋
Tel: (事務所) 078-915-0137
Mail: sen1010@camel.plala.or.jp
【所属委員会】
総務常任委員会



井藤 圭順
2期議員
【事務所】太寺2丁目
Tel: (事務所) 078-911-4087
【所属委員会】
建設企業常任委員会



出雲 有希子
1期議員
【事務所】大道町2丁目
Tel: (事務所) 080-9333-7331
【所属委員会】文教厚生委員会 副委員長
議会運営委員会



石井 宏法
2期議員
【事務所】林3丁目
Tel: 078-922-1181
【所属委員会】
文教厚生常任委員会

明石市議会 自由民主党明石

私たち明石市議会 自由民主党明石は8名の議員で構成。明石市議会の重責を担う会派としての責任と覚悟を持って市民の皆さまの代表者として頑張っています。



灰野 修平
2期議員
【事務所】大久保町駅前1丁目
Tel: (事務所) 078-936-0055
Mail: haino0055@gmail.com
【所属委員会】
総務常任委員会 委員長



榎本 和夫
4期議員
【事務所】大久保町高丘6丁目
Tel: (事務所) 080-4607-4148
【所属委員会】
建設企業常任委員会



三好 宏
3期議員
【事務所】西明石南町2丁目
Tel: (事務所) 078-922-0201
Mail: ganbare@miyohiro.net
【所属委員会】
生活文化常任委員会
議会運営委員会 副委員長



辰巳 浩司
5期議員
【事務所】東神ノ町
Tel: 078-911-4834
【所属委員会】総務常任委員会

ご意見・お問い合わせ

明石市議会
自由民主党明石

FAX 078-918-0466

MAIL contact@jimin-akashi.jp

HP <https://jimin-akashi.jp>

〒673-8686 明石市中崎1丁目5番1号

※いただきましたご意見は議会活動の参考にさせていただきます。※この広報紙は政務活動費で発行しています。